

ときめき インタビュー



…プロフィール…

1983年2月6日、東京都足立区生まれ。中学3年生の時越谷市へ転入、栄進中卒業。2004年12月、EXILEのヴォーカリストATSUSHI率いる4人組のR&BコーラスグループCOLORを結成後、メジャーデビュー。2006年10月、ATSUSHIとともにCOLORを脱退。ソロアーティストKIKURIとしてスタートをきる。2007年2月、初ソロ曲「希望」を配信でリリース。6月には2曲目となる「君を想ふ」をリリース。ライブ活動、ミュージカル出演など積極的に活動を広げている。

メジャーデビュー後も

越谷を大切に

R&BシンガーのKIKURIさんは、中学校時代に足立区から市内の栄進中学校に転校し、その後現在までずっと越谷に住んでいます。

「デビュー前によく行ったカラオケ店、友達と歌ったライブハウス…街のいたるところに思い出がありますね」

昨年12月には、サンシティ大ホールで『チャリティーワンコインライブ』を開催。越谷の友人、ファンが集結し、大変な盛り上がりを見せました。

KIKURIさんが歌うR&B（リズム・アンド・ブルース）とは、現在は70年代のソウルミュージックなどの、ブラックミュージックが変化、洗練されてきた音楽のことで、宇多田ヒカルや安室奈美恵、久保田利伸やEXILE（エグザイル）などが、現代の日本のR&Bの代表的存在とされています。

KIKURIさんは、そのEXILEのボーカルATSUSHIさんがプロデュースしたコーラスグループCOLORのメンバーと

して、2004年にメジャーデビューしました。シングル4枚、アルバム1枚を発表し、2006年にグループを脱退、ソロシンガーとして第一歩を踏み出すことになりました。

ソロデビュー曲は、翌2007年にインターネットで配信した「希望」。

2年間で音楽シーンを駆け抜けたCOLORですが、メンバー同士は今でもとても仲がよく、脱退はそれぞれがそれぞれの「希望」を抱いての発展的なものだったようです。

「尾崎豊」と「ステイ・ヴィー・ワンダー」を歌う少年

KIKURIさんが歌に夢中になったのは栄進中学校時代。「最初に好きになったシンガーは尾崎豊。気持ちマイクにぶつけるように歌う姿に感動しました」といいます。

そして、このころ、友人を介して同じく越谷出身で2歳年上のATSUSHIさんとの運命的な出会いがありました。「ATSUSHIさんがいなければシンガーの

自分はいなかった」というほどATSUSHIさんを慕うKIKURIさん。そんな二人が出会い、初めてデュオを組んで歌った曲は、ステイ・ヴィー・ワンダーの『レイトリー』という曲だったといいます。笑顔でそう話してくれるKIKURIさんは、この日一番と

言っているほど楽しそうでした。17歳〜20歳のときには、ATSUSHIさんと中央市民会館の劇場で、毎年「卒業ライブ」を開催。卒業のシーズンに多くの中学生・高校生が集まり「今でも越谷の思い出といえば『卒業ライブ』を一番に思い出します」と当時を懐かしみながら話していました。

何を歌うかより、いかに生きるか

6月に東京・大阪でのコンサートを終えたばかりのKIKURIさん。今後の予定は随時、自身のホームページ(<http://www.kikuri.com/>)で告知をしていくそうです。

ぜひチェックしてみてください。最後に、これからどんな曲を歌ってみたいかという問いに、「一問置いて、かみしめるように、どんな歌でも、その歌を通して自分の生き様が出せればそれが一番です」と答えてくれたKIKURIさん。今後はソロシンガーとして再びメジャーデビューを目指すことになりました。

人の心に届く歌を歌い続けること。そのためなら、どんなに辛いことがあっても頑張れる。



R&Bシンガー KIKURIさん

昨年末、南越谷のサンシティ大ホールで、チャリティーワンコインライブ「キクリックステーション」を成功させたR&BシンガーのKIKURIさん。ソロシンガーとして飛躍しようとする期待のアーティストにお話を伺いました。